



ADVANTEST[®]

第73期 中間報告書

(2014年4月1日▶2014年9月30日)

コスト節減と売上増の 取組みに努め、 利益の最大化を目指します。

代表取締役兼執行役員社長(CEO)

黒江 真一郎



株主の皆様におかれましては、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

アドバンテスグループの2014年度上半期(2014年4月1日から2014年9月30日まで)における事業の概況につきましてご報告申し上げます。

当上半期の世界経済は、米国経済においては堅調な回復軌道を維持しましたが、欧州では経済活動の減速傾向が続きました。中国など新興国諸国は、引き続き世界経済成長の牽引役であるものの、成長に鈍化が見られました。日本経済は、消費税増税に伴う景気の落ち込みから緩やかな回復を続けました。

半導体関連市場においては、2013年末に中国でLTEサービス

が開始されたことを契機として、中国向けLTEスマートフォンに搭載される半導体需要が増加したほか、ハイエンド・スマートフォン新製品用の半導体生産が本格化したことで、生産能力増強に向けた設備投資が半導体メーカー各社で活発に進展しました。

このような事業環境の中、当社はスマートフォン用半導体向けを中心に事業の伸長に努めました。その結果、2014年度上半期の受注高は874億円(前年同期比43.6%増)、売上高は789億円(同32.4%増)となりました。前年同期比での増収に加え、採算性の高い製品の売上比率が向上したことなどにより損益面は大きく改善し、営業利益は64億円、税引前当期純利益は80億円、当期純利益は46億円となりました。海外売上高比率は92.8% (前年同期90.5%)です。

今後の市場環境につきましては、スマートフォンの低価格化、LTE対応、および高性能化に伴う世界的な普及が、半導体関連市場の成長を牽引するものと見込まれます。この流れに沿って、非メモリ半導体、メモリ半導体のいずれも堅調な市場成長が予想されていることから、半導体メーカー各社における当社テストシステムへの需要も一定水準が維持されるものと想定しています。

当社は、2013年度より進めている2つの構造転換、ひとつは外部環境の変化に左右されず確実に利益を創出できるコスト構造への転換、もうひとつは経営資源を成長市場へ機動的に移す事業構造の転換、これらの構造転換を確実に実行し、一層の収益基盤強化と高収益体質への変革を図ります。

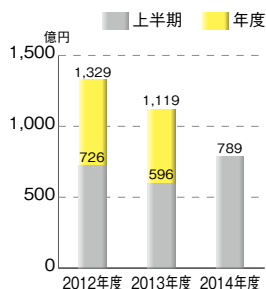
なお、テスト需要の底堅さを踏まえて通期連結業績予想を見直し、売上高を1,450億円から1,520億円に、営業利益は100億円から120億円に、税引前当期純利益は営業外損益の上半期連結実績に基づき100億円から137億円に、当期純利益は75億円から80億円にそれぞれ変更しました。

株主の皆様への中間配当金につきましては、1株につき5円とし、本年12月1日を支払開始日とすることを2014年10月28日の取締役会において決議いたしました。

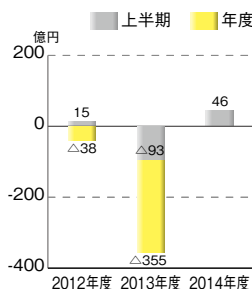
株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

2014年11月

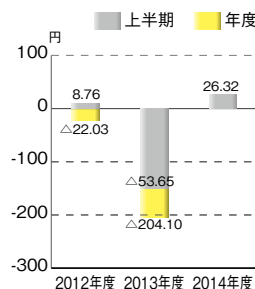
売上高(連結)



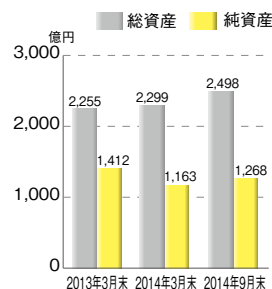
当期純利益(連結)



1株当たり当社株主に帰属する
当期純利益(連結)



総資産・純資産(連結)



身近な製品とアドバンテスト

当社のテスト・システムは、スマートフォンやパソコンなど、身近な電子機器に組み込まれるさまざまな半導体をテストしています。



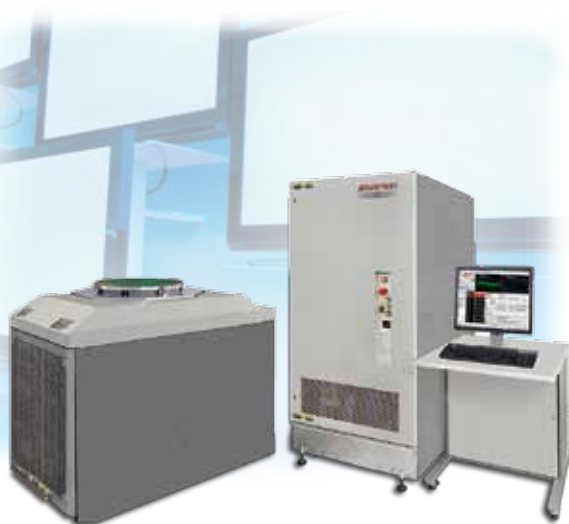
[新製品]

ディスプレイ・ドライバIC向けテスト・システム「T6391」を発表

ディスプレイ・ドライバIC (DDI) は、スマートフォンやテレビなど、さまざまな電気製品に使用されるディスプレイの動作を制御するICです。

T6391は、次世代DDIの技術トレンドに応えた最新のテスト・プラットフォームです。フルHDやWXGAといった高画質の映像規格向けDDIのテストをサポートしており、さらにモジュールの追加により、高速インターフェースが求められる4Kなどの次世代テレビ向けDDIにも対応可能です。また、パワー・マネジメント、タッチセンサー機能などのアナログ回路やメモリ回路のテスト機能も備えています。

本製品は、世界各地に1,500台以上導入されておりDDIテストの業界標準である「T6300シリーズ」の使用環境を継承しております。お客様のこれまでのテスト環境を継承しつつ、データ処理や伝送速度の高速化によるテスト・スループットの向上が可能です。



[新製品]

「E3640」10ナノメートル台対応 MASK MVM-SEM*



E3640は、マスク用SEM市場で広く支持されている当社E3600シリーズの最新機種です。測定再現性とスループットを大幅に高め、今後量産工程への普及が見込まれる10ナノメートル台のプロセスにも対応しております。

また、複数の検出器を利用することにより、従来機種と同様にパターンの幅、高さ、側壁角度をリアルタイムで3D観察および3D計測することができます。

*MVM-SEM: Multi Vision Metrology Scanning Electron Microscope
多次元観察・測長走査型電子顕微鏡

[新製品]

DDR4、LPDDR4向けメモリ・テスト・システム「T5503HS」を発表



T5503HSは、主にモバイル機器に使われる次世代の低消費電力メモリ LPDDR4-SDRAMや、パソコン、サーバに搭載されるDDR4-SDRAMなどのデバイスを対象としたシステムです。最高4.5Gbpsの速度で最大512個の同時測定を実現する業界トップクラスの性能を持ち、テスト・コストの面でも優れています。

また、T5503HSは従来機種T5503と同一のプラットフォームを使用しています。これにより、既存のT5503を最小限の設備投資でT5503HSへアップグレードすることが可能です。

アドバンテストのメモリ・テスト・システムは、世界各地に8,000台以上設置され、メモリ・デバイス試験の市場をリードしています。新たにT5503HSを加えることにより、当社プレゼンスのさらなる向上を目指します。

[新製品]

SoCデバイス向けテスト・ハンドラ 「M4871」

M4871は、高精度のハンドリング精度と、高レスポンスの温度制御を実現したテスト・ハンドラです。

当製品は、測定デバイスの両面を画像認識することで高精度な位置補正を行うことができ、最先端の高密度実装デバイスや両面実装デバイスのテストに最適です。

また、被測定デバイスへの高精度高レスポンスの温度印可を可能とすることで、システムのダウンタイムを大幅に削減できます。

当社テスト・システムやデバイス・インタフェースと組み合わせて使用することにより、微細化・高機能化が進む先端SoCデバイスのために高品質・高効率のテスト・ソリューションを提供します。



[新製品]

SSD (ソリッド・ステート・ドライブ) テスト・システム「MPT3000」

高い成長率とともに競争が激化しつつあるSSD市場においては、新たな機種や次世代機への速やかな移行のために多種多様なプロトコルへの対応が求められます。

当社では、SSDを試験可能な新製品「MPT3000」を開発し、SSDシステムレベル・テスト市場に参入いたしました。高性能で使い易さに優れたソフトウェアと、マルチ・プロトコル対応を特長とするハードウェアを備え、SSDのテスト・生産効率向上に貢献します。



[新製品]

アナログIC、ミクスド・シグナルIC向け計測システム「EVA100」



従来のアナログICやミクスド・シグナルICの開発環境では、アナログ電圧・電流源、パターン・ジェネレータ、オシロスコープなど、必要となるさまざまな計測器を組み上げてシステムを構築していました。

このEVA100は、それぞれの計測器の機能を、コンパクトな1台のボディに搭載しています。このため、個々の計測器間の煩雑な配線や接続設定が不要となり、また高精度なタイミング制御が可能となりました。

[新製品]

半導体非破壊検査 パッケージ厚解析装置「TS9000」を販売開始

TS9000は、テラヘルツ波を用いて半導体パッケージの厚さを非破壊で測定する装置です。量産工程での使用に不可欠な高速・高精度での解析を実現し、スマートフォンの普及による小型化・高集積化が進む半導体デバイスの品質向上に大きく貢献します。



連結財務諸表〔米国会計基準〕

記載金額は百万円未満を四捨五入して表示しております。

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	2013年度 (2014年3月末)	2014年度上半期 (2014年9月末)
〔資産の部〕		
流動資産	124,819	144,170
現金および現金同等物	68,997	83,503
売上債権(貸倒引当金控除後)	20,404	25,794
棚卸資産	30,200	30,476
その他の流動資産	5,218	4,397
投資有価証券	3,741	2,423
有形固定資産(純額)	39,925	38,903
無形資産(純額)	3,545	3,430
のれん	46,846	49,777
その他の資産	10,980	11,118
資産合計	229,856	249,821

科 目	2013年度 (2014年3月末)	2014年度上半期 (2014年9月末)
〔負債の部〕		
流動負債	26,607	46,793
買掛金	12,353	15,613
未払費用	6,775	9,583
未払法人税等	1,089	3,741
製品保証引当金	1,589	1,492
1年以内償還社債	—	10,000
前受金	2,488	2,996
その他の流動負債	2,313	3,368
社債	25,000	15,000
転換社債	30,149	30,134
未払退職および年金費用	28,641	28,714
その他の固定負債	3,207	2,389
負債合計	113,604	123,030
契約債務および偶発債務		
〔資本の部〕		
資本金	32,363	32,363
資本剰余金	43,906	43,895
利益剰余金	130,740	134,387
その他の包括利益累計額	5,326	12,148
自己株式	△96,083	△96,002
資本合計	116,252	126,791
負債および資本合計	229,856	249,821

連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	2013年度上半期	2014年度上半期
売上高	59,638	78,943
売上原価	30,793	35,697
売上総利益	28,845	43,246
研究開発費	17,408	15,022
販売費および一般管理費	19,431	21,832
営業利益(△損失)	△7,994	6,392
その他収益	607	1,625
税引前当期純利益(△損失)	△7,387	8,017
法人税等	1,954	3,432
持分法投資利益	2	—
当期純利益(△損失)	△9,339	4,585

セグメント別売上高

(単位：百万円)

科 目	2013年度上半期	2014年度上半期
半導体・部品テストシステム事業	41,304	54,991
メカトロニクス関連事業	6,787	11,100
サ ー ビ ス 他	11,638	12,918
内部取引消去	△91	△66
合 計	59,638	78,943

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

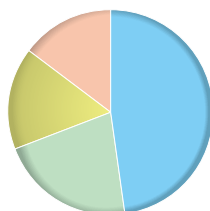
(単位：百万円)

区 分	2013年度上半期	2014年度上半期
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,380	13,392
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,956	△142
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,231	△809
現金および現金同等物に係る換算差額	1,911	2,065
現金および現金同等物の純増減額(△減少)	104	14,506
現金および現金同等物の期首残高	45,668	68,997
現金および現金同等物の当期末残高	45,772	83,503

■ 株式の状況 (2014年9月30日現在)

発行可能株式総数……………440,000,000 株
 発行済株式の総数……………199,566,770 株
 株主数……………41,332 名

●所有者別株式数分布状況



金融機関・証券会社	98名	95,334千株 (47.8%)
外国人	434名	42,663千株 (21.4%)
個人・その他	40,478名	32,325千株 (16.2%)
その他の法人・自己株式	322名	29,245千株 (14.6%)

■ 大株主 (2014年9月30日現在)

株 主 名	持株数	持株比率
	千株	%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	22,800	13.09
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 富士通口		
再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	20,143	11.56
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	12,579	7.22
B N P パ リ バ 証 券 株 式 会 社	6,315	3.63
資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託口)	3,959	2.27
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	3,617	2.08
J P モ ル ガ ン 証 券 株 式 会 社	3,085	1.77
ステート ストリート バンク ウェスト クライアント トリーティ	1,746	1.00
BARCLAYS CAPITAL SECURITIES LIMITED	1,737	1.00
エイチエスピーシー アジア エクイティアー ファイナンス		
ジャパン エクイティーズ(トレーディング)	1,670	0.96

- (注) 1. 持株比率は、自己株式(25,367千株)を控除して計算しています。
2. みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 富士通口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社の所有株式数20,143千株は、富士通株式会社が所有していた当社株式を退職給付信託として委託した信託財産であり、議決権については富士通株式会社の指図により行使されることとなっております。
3. 「株券等の大量保有の状況に関する開示」制度に基づき、2014年9月4日付で提出された変更報告書により、野村證券株式会社他4社が2014年8月29日現在16,723千株を共同保有している旨、2014年6月19日付で提出された変更報告書により、三井住友信託銀行株式会社他2社が2014年6月13日現在15,117千株を共同保有している旨、2014年3月3日付で提出された変更報告書により、株式会社三菱東京UFJ銀行他4社が2014年2月24日現在16,706千株を共同保有している旨の報告を受けておりますが、当社として実質所有株式数の確認ができない部分については上記表に含めておりません。

●取締役および監査役

代表取締役会長	丸山利雄
代表取締役	黒江真一郎
取締役	萩尾保繁
取締役	唐津治夢
取締役	吉川誠一
取締役	明世範 <small>(ミヨン セボン)</small>
取締役	中村弘志
取締役	吉田芳明
常勤監査役	栗田優一
常勤監査役	島山彰恵
監査役	山室正
監査役	小倉正

●執行役員

執行役員社長 (CEO)	黒江真一郎
常務執行役員	明世範
常務執行役員	中村弘志
常務執行役員	吉田芳明
常務執行役員	今田英明
常務執行役員	Hans-Juergen Wagner <small>(ハンス ユルゲン ワーグナー)</small>
執行役員	杉浦孝隆
執行役員	関野隆一
執行役員	塚越聡一
執行役員	Josef Schraetzenstaller <small>(ヨゼフ シュレットゼンスタラー)</small>
執行役員	中原真人
執行役員	岡安俊幸
執行役員	CH Wu <small>(シーエイチ ウー)</small>
執行役員	山下和宏
執行役員	佐藤憲二
執行役員	中村隆幸
執行役員	Wilhelm Radermacher <small>(ヴィルヘルム ラーデマハー)</small>
執行役員	山田益弘
執行役員	南雲悟
執行役員	佐々木功
執行役員	津久井幸一
執行役員	Keith Hardwick <small>(キース ハードウィック)</small>
執行役員	Douglas Lefever <small>(ダグラス ラフィーバー)</small>

商号：株式会社アドバンテスト
ADVANTEST CORPORATION

本店：東京都練馬区旭町1丁目32番1号

本社事務所：〒100-0005
東京都千代田区丸の内1丁目6番2号
新丸の内センタービルディング
電話 03-3214-7500

設立：1954年12月2日

従業員：4,608名(連結)
(2014年9月30日現在) ※上記従業員には、派遣社員等を含んでおりません。

上場：東京証券取引所第1部(コード: 6857)
ニューヨーク証券取引所(Ticker Symbol: ATE)

当社ウェブサイト：<http://www.advantest.com>

最新のニュースやIR情報などを掲載しておりますのでぜひご利用ください。



アドバンテスト

検索

株主メモ

事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日	
定時株主総会	毎年6月	
基準日	定時株主総会	毎年3月31日
	期末配当金	毎年3月31日
	中間配当金	毎年9月30日
単元株式数	100株	
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社	
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL. 0120-232-711 (通話料無料)	
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載 URL http://www.advantest.com/jp/investors/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)	

- (ご注意) 1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることになっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、下記特別口座の口座管理機関にお問い合わせください。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

特別口座の口座管理機関	東京証券代行株式会社
同連絡先	東京証券代行株式会社 事務センター 〒168-8522 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 TEL. 0120-49-7009 (フリーダイヤル)

ADVANTEST®

株式会社 **アドバンテスト**

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1丁目6番2号 新丸の内センタービルディング
TEL : 03-3214-7500

<http://www.advantest.com>



環境に配慮し、再生紙と植物油インクを使用しています。